

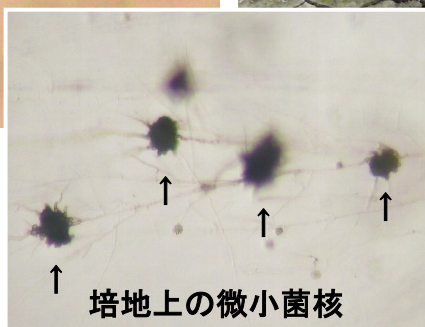
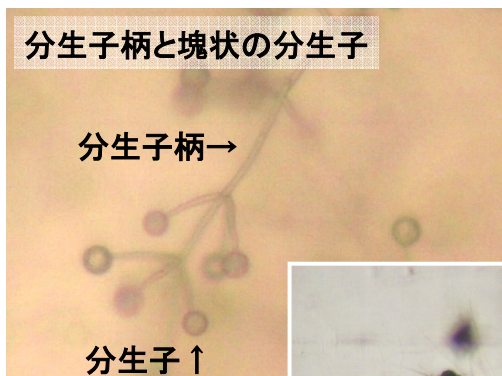
平成23年度病害虫発生予報第1号(4月予報)

<お知らせ> 平成23年3月末をもって、北部駐在は閉所となりました。

今月のトピックス

半身萎凋病(オクラ)

学名 : *Verticillium dahliae*



生態と被害

下葉から黄化や萎凋がはじまり、葉縁が巻き、徐々に上部へ進展する。やがて下葉から落葉し、立枯れを起こす。茎や葉柄の導管部は褐変する。

本菌は罹病作物体上で多数の微小菌核を作り、これが土壌中に長期間残り、伝染源となる。病原菌は、根から作物に侵入し、導管を通して作物の全身に広がる。発病適温は23～28℃。多犯性で、ナス科、ウリ科、アブラナ科ほか多くの植物に病原性を示す。

オクラにおける本病の発生は、国内では昭和51年に愛知県で初めて報告され、その後北海道、東京都、高知県、群馬県など各地で報告されているが、沖縄県では平成22年4月に初めて確認された。

<http://www3.pref.okinawa.jp/site/view/cateview.jsp?cateid=119>